

2016年1月4日

報道関係各位

森ビル株式会社
代表取締役社長 辻 慎吾

2016年 年頭所感（要旨）

2016年は、森ビルの将来を左右する「要の年」だ。推進中の複数の大規模プロジェクトについて、すべての要素を勘案して最適解を見出し、多くの関係者を束ねて全体の骨格を固めていく。今まで温めてきた構想や新たなアイデアを実現できるかどうかは、この1年で決まる。妥協することなく挑戦しつづけ、森ビルらしい計画にまとめあげる。

今夏のリオデジャネイロ オリンピック・パラリンピックが終わると、世界の目は東京に集まる。我々の国際新都心形成への取り組みを、世界にお披露目する絶好のチャンスだ。虎ノ門ヒルズ周辺の一体開発を含め、一連のプロジェクトを、森ビルらしいクオリティで計画通りに成功させ、東京と森ビルの底力を世界に強く印象づけたい。

「都市をつくり、都市を育む」という仕事は、様々な立場の人々との協働作業であり、多くの人々に我々の考えを理解してもらわなければ成り立たない。そのためには高いプレゼンテーション能力が不可欠だ。日本人はものづくりでは一流だが、プレゼンテーションにおいてはまだまだ世界に学ぶべきことが多い。社員ひとりひとりが世界に目を向け、プレゼンテーション能力に磨きをかけてほしい。

2016年も「森ビルはますます森ビルになる」という気持ちを忘れずに、「要の年」を一緒に走り切ろう。

以上

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社広報室

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306

E-mail : koho@mori.co.jp